

発行所 ファーム773

第295号

発行日 2017.09.15

発行人 佐藤 保

ナナミちゃんの農事通信

山梨県北杜市明野町で「雨と風と太陽と」

「土と人情」に囲まれた。ナナミ

ちゃんの「私、土の子」奮闘記



ハナも畑の見
回り中ニヤン
09.02撮影

1 狭い畑をやい繰り

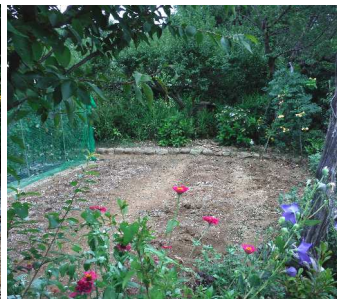
夏の長雨も何とか乗り切り、畑のやり繰りをしながら種蒔きをしています。

「お盆過ぎれば涼しく」とはよく言ったもので、九月上旬の夜は肌寒くなりました。大根やホウレン草の種を蒔き「キュウリも終わりネ」とカカ、夏野菜も終る。

←08.30ナナミちゃんのお宿前の畑、残っていたスイカを収穫、ネットやズッキーニ畝のマルチを取り外し→ ↓残りスイカ4個収穫



09.02 ↑長雨と日照不足でピーマンなどの丈やインゲンなどのツルが伸び過ぎ、カカの姿も道から見えない ←カカはツルや葉の剪定中



←09.03雨が降った翌日に柔らかな畑を耕し→石灰をまいたので一週間ほど土を休ませ、秋冬野菜の種蒔きの予定です。



目次

- 1 狭い畑をやい繰り 1
- 2 「ナナミちゃんのお宿」は? 1
- 3 エコハウス私論 2
- 4 九月のお野菜宅配 2
- 5 九月のお味 2

ハイライト

処暑・末候9月2日～6日
「禾乃登か すなわち みのる」
「禾」とは本来、稲などの穂先に生えている毛をさす言葉だが、転じてイネやヒエ、アワなど穀類の総称とされる。

「登」は実るという意味。全体では、イネが実る頃という意味。



朝の NHKテ 09.10ナナミちゃんのお宿前の丹波栗が実る

レビで「秋の七草」園芸種を紹介、葛だけはツル性で園芸種には不向きと、器に入った「葛きり」が登場?!「秋の七草」と言う場合、奈良時代の歌人 山上憶良が短歌のなかに挙げた、ハギ、オバナ、クズ、ナデシコ、オミナエシ、フジバカマ、アサガオ。オバナはススキで、アサガオはキキョウではないか言われている。わが家の秋色と言え、栗! 昨年は8月28日にランチで栗ご飯が登場していると、今年の栗ご飯は十日ほど遅い。これも夏の長雨の影響でしょうか、カカは「皮が軟らかくて剥きやすい」と収穫したての栗皮をむき、ご飯用に仕込み始めました。

山梨の稲作は例年並みと台風は心配ですが、まずは一安心な秋です。

2 「ナナミちゃんのお宿」は?



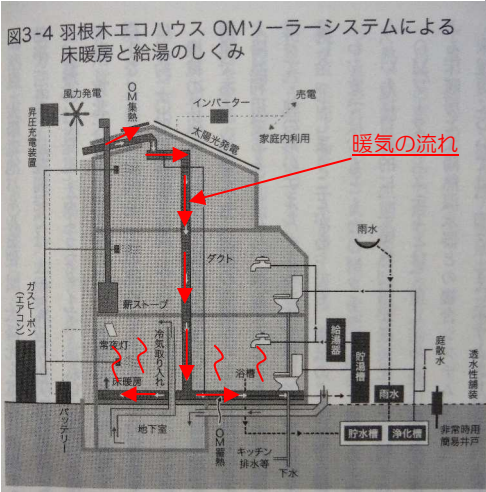
←08.24特別メニューランチは、冷麦と小皿に さしす梅酢ピクルス、ワラビと焼きナス、キュウリとナスにミョウガの浅漬け、長芋トコロ、ナメコ煮物、刻んだオクラにミョウガ。大皿には棒鶏風に蒸し鶏とヤングコーンに刻んだキュウリを、煮物は後引きナスに万願寺唐辛子、人参かき揚げと海老にインゲンやチーズハンペンのテンブラでした。

お馴染みさんのランチではカカの頭のつかい時、前回は?前々回は?とアレコレ考え悩みも多いが楽しみ倍化、元気の源かもしれません。お越しいただいたお客様 毎度ありがとうございます。



↑09.07特別メニューランチ
ご飯は天丼、煮物は冬瓜と鶏肉にオクラ、お浸しは庭のワラビと焼きナスに秋ミョウガ、漬物三種、ポテトサラダ。新味噌が出来上がり、キノコの曙大豆味噌汁が登場

4 エコハウス私論



「エコハウス私論」小林 光 著を読みエコな生活に努めようと考え、本書の抜粋や要約になりますが、『もっとエコにならないかい! 「トイレ禁止令」エコハウスのトイレは当初、お風呂の排水以外にも、洗面所の排水、洗濯機の排水などが注ぎ込まれ、オーバー

ロード状態になっていた。数カ月もせずに、トイレのロータンクへ洗浄水を補給する速度がぐぐっと落ちてきた。一度フラッシュすると、一時間経っても次の一回分の洗浄水が溜まらない大変に困った事態になった。事実上のおトイレ禁止である。よくよく調べてみると、蛇口の少し上流にあたる管の中で、水中の不純物やサビなどの浮遊物を取り除くストレーナーが目詰まりしていた。家庭用中水設備のメーカーであるINAXの助言から、限られた容量の曝気処理だけでは、洗濯排水は下水へ直接流すように変え、風呂場の石鹸排水や洗面所の排水も汚れが強いので、流れ込みにくい仕掛けを設け、次へ続く

主にバスタブの排水が中水設備の処理槽に入るように改善した。この改善は、INAXによる機器の改良として行われた。具体的には、中水設備の曝気槽に入る前に枡のような設備を設け、少量の排水では下水へ、バスタブの放流のような多量の時に限り、水が枡を越流し中水設備に入る。バスタブ排水以外の流入には雨水がある。バスタブ排水も雨水もない時には、自動的に浄水を補給水源として使う仕組みになっている。わが家の工事全体を請け負った工務店が破産に至り、まさか我が身に起ころうとは、想定範囲を超えた事態だった。幸いわが家では、OMソーラー協会との間で完工補償保険を結んでおり、工事はとっくに完工しており、登記も終り、工事費の支払いも完全に済んでいたから、保険の出番はなかったが、三万円ほどの保険料はもったいないが、保険を結んでおく意義は高いと実感した。

「台風直撃、雨漏り発生」台風の強い北風の時に限って雨漏りが起きた。天候が回復してから、工務店がコーキングを施した。二年後の台風でも、やっぱり水は漏った。直せてなかったのである。思いあぐねて、太陽光発電ネットワークに相談した。太陽光発電ネットワークはNPO法人であり、自宅に太陽電池パネルを設けている人を中心とした集まりである。会員の太陽光発電装置に生じたトラブルへの対処支援も行っていた。原因は屋根材の施工不良であった。費用は新築当時の工事担当者とOMソーラー協会が相談して決め、施工は技術力の高い平野工業で行われた。』次号に続く。

4 九月の野菜宅配



↑09.02東京の野菜会員へ宅配便
カリカリ梅漬・ミニトマト・玉ネギにジャガイモ、島オクラ・インゲンとゴーヤ、ピーマン・万願寺唐辛子にナスと冬瓜、キュウリに長ネギ人参にモロヘイヤとミョウガ。
ナナミちゃんの農事通信最新号も

↓09.06神奈川の野菜会員宅配便
人参・長ネギ・ナスにインゲン、さしす梅干しハバヒロインゲンと島オクラ、ミニトマト、秋ミョウガに手作り新味噌に農事通信最新号



5 九月のお味



千日紅を活けた母屋

玄関の表札に「冬瓜モツ煮込み始めました」の看板が似合いそうな、肌寒い季節になりました。あの蒸し暑い夏はどこへ行ったのでしょうか? なにを口にしても旨い!! 短い秋がやって



来ました。

←冬瓜と豚モツを圧力鍋で、モツも柔らかく煮え、囲炉裏端で熱燗が似合う季節、夕暮れには肌寒くなって。

田舎暮らしの原点・原動力は野菜作り、その野菜を買って応援してくれる野菜会員がいること。季節の畑仕事や収穫する野菜を「ナナミちゃんの農事通信」でお知らせ。カカトトは、お野菜会員の方々から働く喜びと元気をいただき・・・なんだかエンディング? イエイエこれから、よろしくお願ひいたします。



←↑09.08大粒丹波栗が落ち始め、カカ栗ご飯を炊く、口にひろがる栗の甘味!! ゴロゴロ栗ご飯始めました。秋の旬は短かくて・・・

→09.06新味噌が出来ました!! 左の汁は味噌作りで少量とれる溜まり醤油、右隣上は去年の曙大豆味噌。下の新味噌、濃い茶は丹波黒豆味噌、薄い色は曙大豆味噌、豆の旨味も感じる仕上がりに、お分けしてます。

